

1. 科目名 (単位数)	ソーシャルワークの基盤と専門職 (専門) (2 単位)	3. 科目番号	SSMP2156 SNMP2356 SCMP2356 SBMP2156 SPMP2156 PSMP2456
2. 授業担当教員	庄司 妃佐		
4. 授業形態	講義、グループディスカッション・作業及び発表	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・ 他科目との関係			
7. 講義概要	社会福祉士の職域、福祉行政等における専門職、また民間の施設・組織における専門職等、ソーシャルワークにおける専門職の概念と範囲について諸外国の動向も踏まえ理解を深める。加えて、ソーシャルワークにおけるミクロ・メゾ・マクロレベルの対象、それぞれのレベルにおける支援の実際と相互の連関性を学ぶ。ジェネラリストの視点に基づく総合的かつ包括的な支援と多職種連携、チームアプローチの意義と内容について理解する。		
8. 学習目標	社会福祉士の職域と求められる役割について理解する。 ソーシャルワークに係る専門職の概念と範囲について理解する。 ミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークの対象と連関性について理解する。 総合的かつ包括的な支援と多職種連携の意義と内容について理解する。		
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	レポート課題. メゾ・ミクロ・マクロレベルにおけるソーシャルワークの展開についてまとめなさい。		
10. 教科書・参考書・ 教材	一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集『最新 社会福祉士 精神保健福祉士養成講座 11 ソーシャルワークの基盤と専門職 [共通・社会専門]』中央法規出版, 2021 年 【参考書】 東京福祉大学編『新・社会福祉要説』ミネルヴァ書房。 東京福祉大学編『保育児童福祉要説』中央法規。 東京福祉大学編『教職科目要説 (初等教育編)』ミネルヴァ書房。 東京福祉大学編『教職科目要説 (中等教育編)』ミネルヴァ書房。		
11. 成績評価の規準と 評定の方法	○成績評価の規準 1. 受講態度・参加姿勢 40% (全授業の 3/4 以上の出席が必要) 遅刻 (10 分程度迄) は 3 回で 1 回休みとなる。 2. 筆記試験とレポート試験を行う。60% ○評定の方法 1. ソーシャルワークに係る専門職の概念と範囲について理解する。 2. ミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークの対象と連関性について理解する。 3. 総合的かつ包括的な支援と多職種連携の意義と内容について理解する。		
12. 受講生への メッセージ	本学の基本方針として学生個人の思考力、創造力、問題解決能力を育成することを目的としている。受講生は、そのために下記の事を守ることが期待されている。 1. 授業中はつねに集中力を保って受講すること。積極的態度で授業に参加することが期待されている。 2. 授業中は私語、居眠りをしないこと。また、携帯電話のスイッチを切っておくこと。 3. 授業は正当な理由がない限り、欠席、遅刻、早退をしないこと。欠席、遅刻、早退をした場合はその理由を必ず教師に書面をもって報告すること。 4. レポートの提出日を厳守すること		
13. オフィスアワー	別途通知する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第 1 回	オリエンテーション : シラバス、講義概要、試験・レポートについての説明及び「ソーシャルワークの基盤と専門職」での学習の振り返り	事前学習	シラバスに目を通し、持参する
		事後学習	ソーシャルワークの基盤と専門職 (専門) の学習のねらいをまとめる
第 2 回	ソーシャルワーク専門職の概念と範囲 1 : ソーシャルワーク専門職の概念と範囲について学ぶ	事前学習	テキスト 206-218 を読み、重要な点をマークする
		事後学習	社会福祉士及び介護福祉士法、精神保健福祉士法について、重要な点をまとめる
第 3 回	ソーシャルワーク専門職の概念と範囲 2 : 社会福祉士の職域と役割について学ぶ	事前学習	テキスト 219-226 を読み、重要な点をマークする
		事後学習	社会福祉士の職域について説明できるようにまとめる
第 4 回	ソーシャルワーク専門職の概念と範囲 3 : 多様な組織・機関・団体における専門職について学ぶ	事前学習	テキスト 227-234 を読み、重要な点をマークする
		事後学習	ソーシャルワーカーに求められる専門性についてまとめる
第 5 回	ソーシャルワーク専門職の概念と範囲 4 : 諸外国の動向について学ぶ	事前学習	テキスト 235-244 を読み、重要な点をマークする
		事後学習	諸外国のソーシャルワーカー養成についてまとめる

第 6 回	マイクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワーク 1 ：マイクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークの対象について学ぶ	事前学習	テキスト 246－254 を読み、重要な点をマークする
		事後学習	ソーシャルワークの対象について、整理する
第 7 回	マイクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワーク 2 ：マイクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークの展開について学ぶ①（グローバル定義と実践の展開、介入の考え方）	事前学習	テキスト 255－258 を読み、重要な点をマークする
		事後学習	ソーシャルワークのグローバル定義について重要な点を抑えながらまとめる
第 8 回	マイクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワーク 3 ：マイクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークの展開について学ぶ②（マイクロ・メゾ・マクロレベルでの実践の展開と考え方）	事前学習	テキスト 258－267 を読み、重要な点をマークする
		事後学習	事例を通して、重要な視点をマイクロ・メゾ・マクロとしてまとめる
第 9 回	総合的かつ包括的な支援と多職種連携の意義と内容 1 ：総合的かつ包括的な支援におけるジェネラリストの視点について学ぶ①（ジェネラリストの視点について）	事前学習	テキスト 270－276 を読み、重要な点をマークする
		事後学習	ソーシャルワーカーのジェネラリストの視点についてまとめる
第 10 回	総合的かつ包括的な支援と多職種連携の意義と内容 2 ：総合的かつ包括的な支援におけるジェネラリストの視点について学ぶ②（実践活動と事例の検討）	事前学習	テキスト 277－276 を読み、重要な点をマークする
		事後学習	包括的な支援体制についてまとめる
第 11 回	総合的かつ包括的な支援と多職種連携の意義と内容 3 ：ジェネラリストの視点に基づく総合的かつ包括的な支援の意義と内容について学ぶ①（多機関・多職種連携・協働による包括的支援体制の構築）	事前学習	テキスト 277－281 を読み、重要な点をマークする
		事後学習	事例を通して、多機関・多職種連携・協働の重要な点をまとめる
第 12 回	総合的かつ包括的な支援と多職種連携の意義と内容 4 ：ジェネラリストの視点に基づく総合的かつ包括的な支援の意義と内容について学ぶ②（社会資源の活用、ソーシャルサポートネットワーク）	事前学習	テキスト 281－287 を読み、重要な点をマークする
		事後学習	社会資源、ソーシャルサポートネットワークについてまとめる
第 13 回	総合的かつ包括的な支援と多職種連携の意義と内容 5 ：多職種連携及びチームアプローチの意義と内容について学ぶ①（多職種連携とチームアプローチの意義）	事前学習	テキスト 289－300 を読み、重要な点をマークする
		事後学習	事例を通して、ソーシャルワークの重要なポイントを整理する
第 14 回	総合的かつ包括的な支援と多職種連携の意義と内容 6 ：多職種連携及びチームアプローチの意義と内容について学ぶ②（機関・団体間の合意形成の促進とクライアントとの連携・協働）	事前学習	テキスト 289－300 の辞令を図式化する
		事後学習	事例で解説したソーシャルワークのポイントをまとめる
第 15 回	まとめ ：これまでの学習を振り返りその内容を確認、今後の自己課題を明確にする。	事前学習	これまでの授業を振り返り、わからない点をまとめる
		事後学習	確認テストにおいて、学習内容の確認を行う